

会 議 録

会議名	2025年度第2回東浦町社会教育委員会	
開催日時	2026年3月24日（火）午後2時から午後3時40分まで	
開催場所	メモリー とんがったスタイル 文化センター 視聴覚室	
出席者	委員	石原弘幸氏、平井伸幸氏、二宮邦子氏、水野智美氏、高崎義幸氏、鈴木達見氏、竹内秀雄氏、藤原雅憲氏
	事務局	ふくし文化部長、学び支援課長、観光交流課郷土観光係長、中央図書館長、生涯学習係長、スポーツ係長、学び支援課主事
欠席者	松下玲子氏、竹内元彦氏	
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 2025年度の取り組み実績について 2 社会教育委員研究について 3 その他 	
傍聴者の数	なし	
審議内容		
<p>◆事務局 挨拶及び欠席者と会議の成立について報告を行う。</p> <p>◇委員長 (挨拶)</p> <p>◆ふくし文化部長 (挨拶)</p> <p>◆事務局 委員長に議事の取り回しを依頼する。 以降は委員長が議事を取り回す。</p> <p>◇委員長 次第に従い議事を進める。議事1「2025年度の取り組み実績」について事務局から説明を求める。</p> <p>◆事務局 ○資料1に基づき、学び支援課（生涯学習係、スポーツ係）の実績について説明。 ○資料1に基づき、中央図書館の実績について説明。</p> <p>◇委員長 事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。</p> <p>◇委員 図書館の取り組みについて資料1の7ページに、「読み書き講座&相談会」という記載</p>		

がある。子どもの読み書き不安についての講座、相談会との説明が記載されているが、具体的にどのような症状についての相談を行うものなのか。

◆事務局

文字の読み書きに特異的な困難がある状態のお子さんや、お子さんの読み書き能力に心配がある保護者の方を対象としている。例えば、文字を読むのに時間がかかる、似た形の文字を混同する、書き間違いが多い等のお子さんの症状について、「もしかしたら自分の子どもがディスレクシアに該当するかもしれない」、「診断は病院でするの？」などという疑問を気軽に相談できる内容であった。

◇委員

スポーツ系の取り組みについて、資料1の6ページに記載のある「子ども体育教室」の参加者について質問する。定員16名のところ、定員以上の申し込みがあり、抽選になったとの説明があった。昨年度と同様の講座については、定員20名や24名だったようだ。昨年度と比べて今年度の定員を減らしている理由はあるのか。

◆事務局

講座の実施内容、定員及び講師の選定について今年度は見直しを行った。その結果定員は少し減らすこととなった。

◇委員

参加者が抽選になるほど人気があるようなので、改めて定員の人数を増やしていただき、希望者がより多く参加できるようになるとよい。

◇委員

生涯学習系の取り組みについて、資料1の5ページに記載のある「出張発明クラブ」について質問する。今回の事業は、愛知県が主催する出張版講座であると聞いた。愛知県内には全国最多の「少年少女発明クラブ」が存在し、近隣の刈谷市のクラブについては、国内最大規模で高度な内容の活動をしているようだ。実際に私も当日の様子を見学したが、多くの子どもが楽しんでいる様子で、東浦町の子どもからの需要が大きいように感じた。現在は、東浦町に「少年少女発明クラブ」が設置されていないため、東浦町在住の子どもは、刈谷市の同クラブへ参加している。東浦町として今後、「少年少女発明クラブ」の設置予定はあるのか。

◆事務局

実際に東浦町に同クラブを設置しようと思うと、いくつかの課題がある。例えば、同クラブの運営のために、高い指導技術を有する方に、東浦町の場合、ほぼボランティアで講師を引き受けていただく必要があり、人材の確保が困難である。また、定期的な活動場所の確保についても、課題がある。

刈谷市は、市内の企業から寄附や協力を受けて、独立した団体として同クラブを運営している。東浦町としては、金銭面を含め同クラブの設置は厳しいと考える。国内トップクラスである刈谷市の同クラブは、東浦町在住の子どもも受け入れてくれている。東浦町としては、参加希望の子どもや保護者へ近隣の同クラブを紹介するなど、同クラブの周知活動を強化していく。

◇委員

東浦町規模の小さな町では、色々な事業を全てやっていくには、限界があると思う。幸

い、刈谷市の同クラブは東浦町の子どもも受け入れてくださるし、刈谷市へ頼ることができるのなら、東浦町に無理に同クラブの設置を進めなくてもよいのではないか。東浦町としては、町内の子どもが近隣市町の同クラブへ参加できる旨を周知強化していただけるとよい。

◇委員

スポーツ系の取り組みについて、「東浦マラソン」の実施がなくなった代わりに、新しく始まった事業が、「ひがしうらスポーツまつり」という認識でよいか。また、愛知駅伝に関する担当係も学び支援課スポーツ係という認識でよいか。

◆事務局

「ひがしうらスポーツまつり」は「東浦マラソン」の代わりに新たに始めた事業である。愛知駅伝の関連事務は、学び支援課スポーツ係が担当している。今年度は、東浦町は町村の部で3位であった。

◇委員

図書館の取り組みについて、資料1の8ページに「ぬいぐるみおとまり会」という記載がある。以前テレビを観ていたら、半田市の事業として「ぬいぐるみおとまり会」という事業が紹介されていた。子どもたちが、ぬいぐるみを図書館に預けて、ぬいぐるみが一晩おとまりするイベントのことと紹介されていた。8ページに記載がある事業も同様のイベントという認識でよいか。

◆事務局

同様のイベントである。もともとは、アメリカの図書館から始まり、日本でも広まった事業である。ぬいぐるみを通じて、子どもたちの想像力を育み、読書に親しみをもってもらう目的がある。東浦町中央図書館では、図書館でぬいぐるみたちが図書館内を探検し、絵本の読み聞かせを聞いたり、図書館の仕事を体験したりする様子を写真に収め、フォトブックとして参加者へプレゼントしている。また、ぬいぐるみが参加者の子どものために選んでくれた本として、実際に絵本を参加者へ貸し出している。

◇委員長

質疑応答を締め切り、事務局へ観光交流課（資料館）の取り組み実績について説明を求める。

◆事務局

○資料1に基づき、観光交流課（資料館）の実績について説明。

◇委員長

事務局からの説明を受けて、委員の質疑及び意見を募る。

◇委員長

その他の質疑がないことを確認し、議題2「社会教育委員研究について」を議題として、事務局へ説明を求める。

◆事務局

資料2に基づき、令和7年度愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張研修会を中心として、説明及び報告を行う。

◇委員長

事務局からの報告を受けて、委員の質疑及び意見を募る。

◇委員

・私たち社会教育委員が2022年度から調査研究を行ってきた取り組みについて、どのように具現化していくのかということは、非常に難しい部分もあるとのこと。東浦町については、できることから具現化していただきたい。

・3年間で調査研究をまとめてきた内容について、何らかの形で具現化していただきたい。愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張研修会で発表した時の参加者の方からの反応は、社会教育委員が主体となって長期間をかけて調査研究を行ってきたという点を評価していただいた反応があったように感じた。ただ、引き続き社会教育委員たちで実現化していくということは、負担が大きい。何かしら今回の取り組みが東浦町の行政で役に立つと嬉しい。

・研究発表へ向けて数年前から小委員会の開催を設けて準備してきた。小委員会の開催については、委員報酬の面や開催場所の提供など、生涯学習係にもご協力いただき、感謝している。

・しっかりと時間をかけて調査研究を行い、準備をしてきた成果として、研修会の発表では高評価をいただけたと思っている。

・自分が社会教育委員として参加した時点では、すでに調査研究がかなり進んだ時点であったため、本研究の考察内容についてAIの活用を提案させていただいた。自分自身が大学の研究で人と行政をつなぐアプリ開発を行っている。費用50万円程度でこのようなアプリの利用ができるため、本研究の具現化に役立てられる機会があれば、提案できると思う。

・今までの調査研究で、自分はあまり役に立てていなかったと感じているが、委員長をはじめ、社会教育委員のみなさんが素敵な調査研究結果としてまとめてくださり、感謝している。

・愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張研修会に参加しようと思っていたが、東浦町からの参加は発表者のみであったため、少し残念であった。研究調査の際に、スポーツ推進委員への調査を行ったが、その際には自分自身も役に立てたことが嬉しかった。

・自分が社会教育委員として参加した時点では、研究調査が始まって2年が経過した時点であった。委員長が私たち委員の様々な意見を受け入れてひとつにまとめてくださり、感謝している。

◇委員長

議題2について、意見を締め切り、議題3「その他」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

議題3はないことを報告する。

◇委員長

他の意見がないことを確認し、議事の終了を宣言する。

◆事務局

事務連絡として、2026 年度の生涯学習関連事業のスケジュール及び配付物について説明する。会議の終了を宣言する。

備考	なし
----	----